

バージョンアップの仕方

※レジとしてお使いの方（買取・販売機能をお使いの方）で、「OPOS ドライバ Ver. 2.68J」へのバージョンアップをされていない方は、まず、説明書「第1部」7ページ以降をご参照になり「OPOS ドライバ Ver. 2.68J」にバージョンアップしてから以下の作業を開始してください。

この操作の仕方は、バージョン Ver. 3・windows8 を例に説明をしております。

——現データの保存——（引き継ぐデータがない方は、以下の操作は不要です。）

※ 基本アプリケーション DISK を再インストールすることで、独自商品や買取・販売等のデータが消えてしまいます。現在のデータを引き継ぐ必要がある場合は以下の手順で操作してください。

まず、独自価格、商品個数データ、販売・買取データ等、現在のデータをマイドキュメントに保存します。

その為、現データのバックアップを取ります。

（チェック）

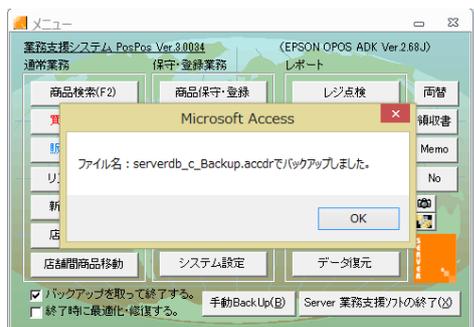
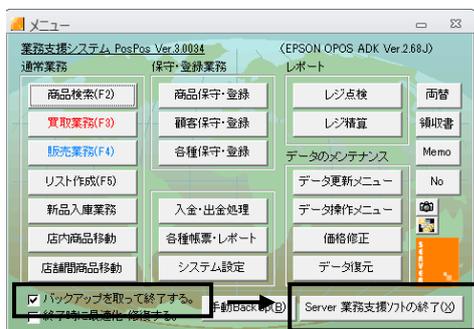
『業務支援システム PosPos』のメニュー画面を開き、「バックアップを取って終了する。」にチェックを入れます。

（クリック）

「Server 業務支援ソフトの終了」をクリックします。

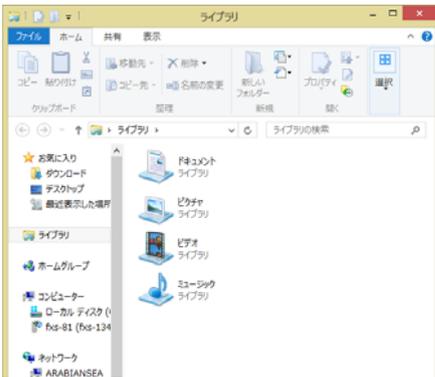
『serverdb_c_Backup.accdr』でバックアップされました。これが必要となります。

次に、バックアップを取った場所を開き、わかりやすい場所（デスクトップ等）に貼ります。

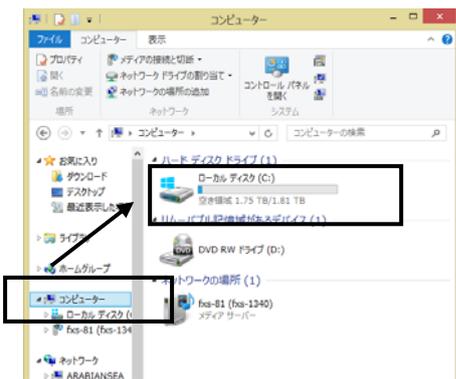




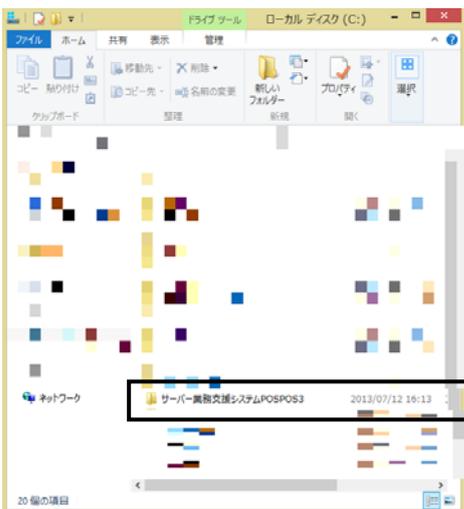
(クリック)
デスクトップより、囲んだマークをクリックします。



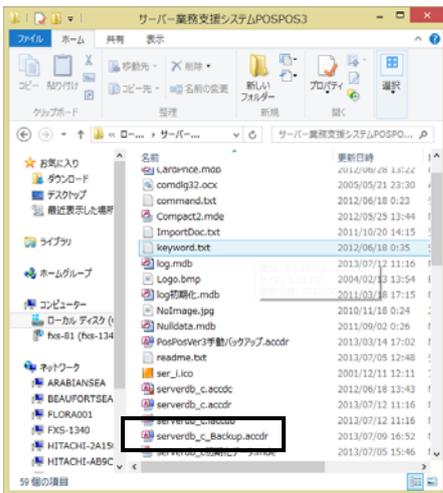
(確認)
「ライブラリ」が表示されます。



(クリック)
「コンピュータ」をクリックし、「ローカルディスク」をクリックします。



(クリック)
「サーバー業務支援システム POSPOS3」をクリックします。



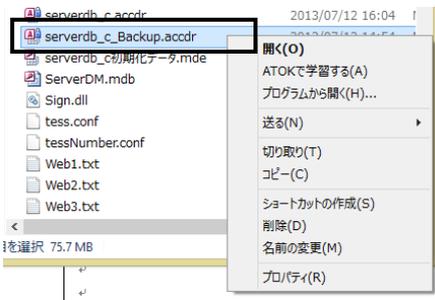
(確認)

「サーバー業務支援システム POSPOS3」が表示されます。

(クリック) (コピー)

「serverdb_c_Backup.accdr」をクリックし、コピーします。

※「serverdb_c_Backup」も同じです。

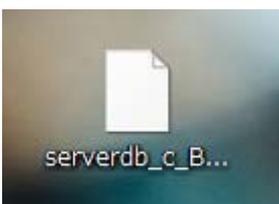


ここでは、バックアップを取った『serverdb_c_Backup.accdr』を使って、新しい PosPos をインストールする時に、『一括復元』を行います。他に『個別復元』等することで、簡単に前の PosPos の情報を新しい PosPos に入れることが出来るので便利です。

※なお、ロゴ (Logo.bmp)、領収書 (領収書.txt) などメモ帳を使用して編集してある項目がございましたらコピーして同じように保存してください。



ここでは、デスクトップに貼ります。



※アンインストールした後は、左図のような状態になっています。

新しい PosPos をインストール後に、また上部のような状態に戻ります。

次に、今まで使っていた PosPos をアンインストールします。

アンインストールの方法<8バージョン>



マウスをデスクトップの右下に合わせます。



(クリック)
「設定」をクリックします。



(クリック)
「コントロールパネル」をクリックします。



(クリック)
「プログラム/プログラムのアンインストール」をクリックします。

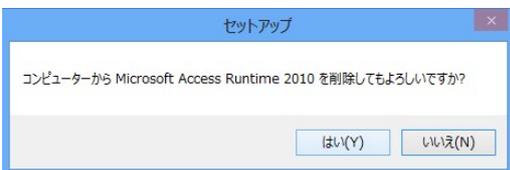


(選択)
「Microsoft Office Runtime 2010」を選択します

新しい PosPos のインストール時に、同時に「Microsoft Office Runtime 2010」がインストールされますので、『PosPos3』をアンインストールする時には、先に Runtime から削除します。



(クリック)
「アンインストール」をクリックします。



(クリック)
「はい」をクリックします。



削除が始まります。



(クリック)
「閉じる」をクリックします。

正常に削除されていると、「プログラムの追加と削除」の欄から、「Microsoft Office Runtime 2010」が消えています。

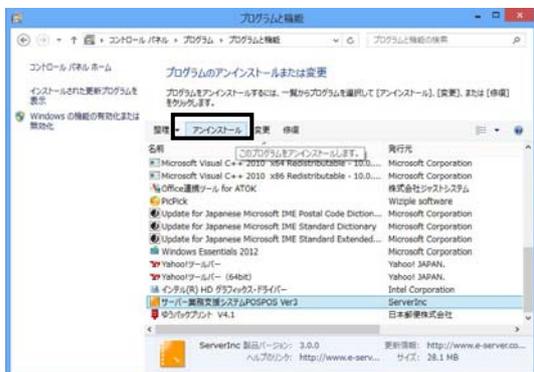
以上で「Microsoft Office Runtime 2010」のアンインストールが終わりました。



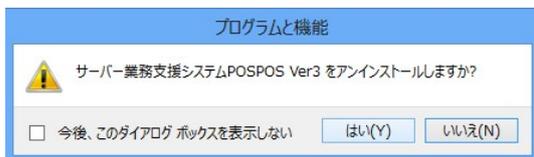
次に、「PosPos3」をアンインストールします。

「Microsoft Office Runtime 2010」の削除と同様に、まずマウスをデスクトップの右下に合わせます。

「設定」－「コントロールパネル」－「プログラムのアンインストール」の中から、「サーバー業務支援システム POSPOS Ver3」を選択します。



(クリック)
「アンインストール」をクリックします。



「サーバー業務支援システム POSPOS Ver3 をアンインストールしますか?」と表示されます。

(クリック)
「はい」をクリックします。

削除が始まります。

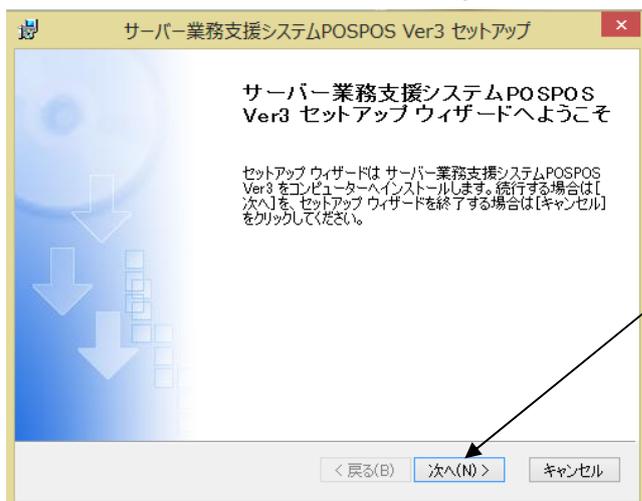
正常に削除されていると、「プログラムの追加と削除」の欄から、「サーバー業務支援システム POSPOS Ver3」が消えています。

以上で「POSPOS Ver3」のアンインストールが終わりました。

——基本アプリケーション DISK のインストール——

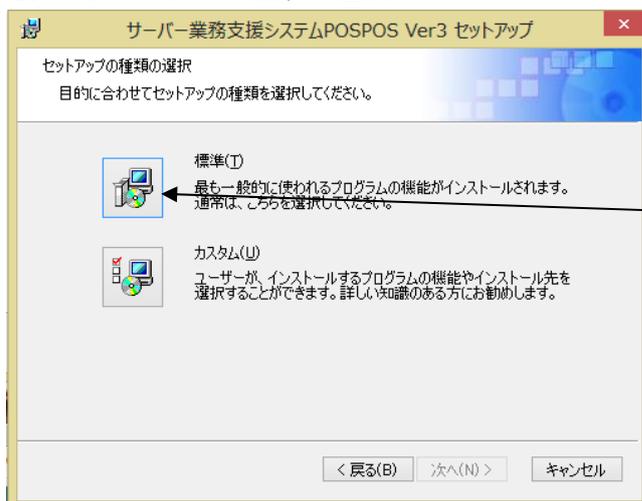
※新しい PosPos をインストールします。

1. 「基本アプリケーション DISK」を入れる前に、使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。終了させないでバージョンアップを実行した場合、エラーが起きる可能性があります。
2. 「基本アプリケーション DISK」もしくは、当社ホームページよりダウンロードされたファイルの「SETUP.EXE」を起動してください。
3. セットアップ画面が表示されます。



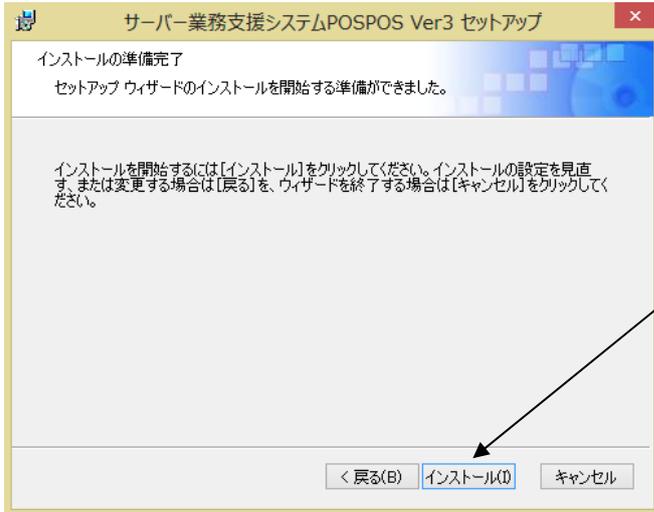
「次へ」をクリックしてください。

4. セットアップの種類を選択



「標準」を選択して「次へ」をクリックしてください。

5. インストールの準備完了です。



「インストール」 ボタンをクリックして、インストールを開始してください。

6. セットアップの完了です。



インストールが終了しました。「すべてのプログラム」から「業務支援システム PosPosver.3」をクリックして立ち上げてください

「業務支援システム PosPos Ver3」の基本アプリケーション DISK には、サンプルデータが入力されております。最新のデータに更新してお使いください。

——前データの引継ぎ——（引き継ぐデータがない方は、以下の操作は不要です。）

※店独自の価格・商品等を入力されている方、PosPos のレジ機能をお使いの方は、以下をご参照になり、独自価格、商品個数データ、販売・買取データ等、バージョンアップ前のデータの引継を行ってください。

1. 新しくインストールされた「Server 業務支援システム PosPosVer3」を立ち上げ、メニュー画面から「データ復元」メニューに入り、データの引継ぎを行います。

データ更新 メニュー

データ復元

POSPOSのバックアップファイルまたは初期化データ (serverdb_c初期化データmde)からデータを読み込みます。

一括復元

データ更新の価格修正テーブルを復元する、または読み込みをする場合はこちら →

データ更新修正テーブルの復元及び読み込み

PosPos Ver.2.146以下のバージョン、またはデータを個別に復元する場合はこちらから →

個別復元

パスワード（初期設定：0000）を入力後、「Enter」をクリックします。

データ一括復元

パスワード **** 復元項目を確認しながら復元する。

復元元ファイル ファイル選択

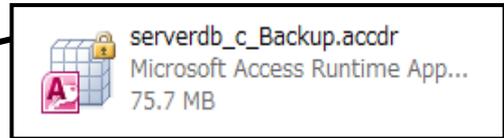
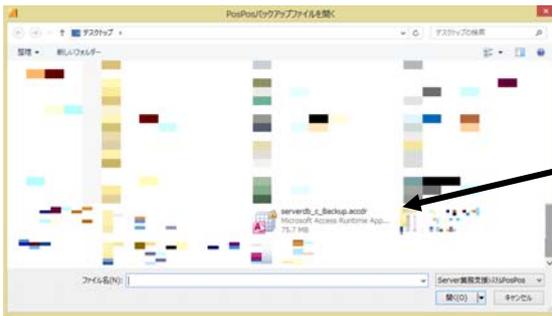
データ一括復元

注意
この「データ一括復元」は復元元のバージョンが2.147より大きいものに対応しています。それ以前のバージョンから復元する場合は「個別復元」から復元して下さい。

2. ファイルを開く場所を指定します。

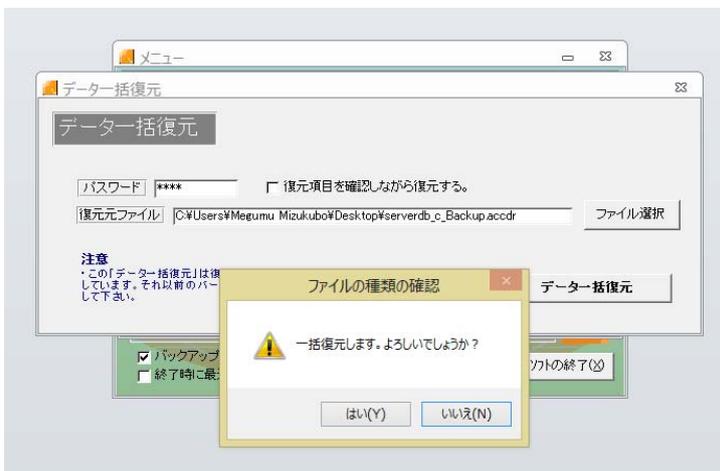
Ver.3 以降からのデータの引継ぎの場合

—現データの保存—「serverdb_c_Backup.accdr」を保存された先（「デスクトップ」・「マイドキュメント」等）を選択してください。
ここでは、「デスクトップ」を使用しています。



ここでファイルの種類をクリックして「Backup ファイル」を選択します。
そして「serverdb_c_Backup.accdr」を選択し、「開く」を押します。

3. 「一括復元」をクリックすると、各項目の復元が開始されます。



項目別に「～を復元します。よろしいですか?」という確認メッセージが表示されますので「はい」をクリックしてください。復元後、「OK」をクリックして終了です。
基本設定の引継ぎはこれで終わりました。

6. データ復元の完了です。これで「Server 業務支援システム PosPosVer.3」に、以前のデータが引き継がれました。

